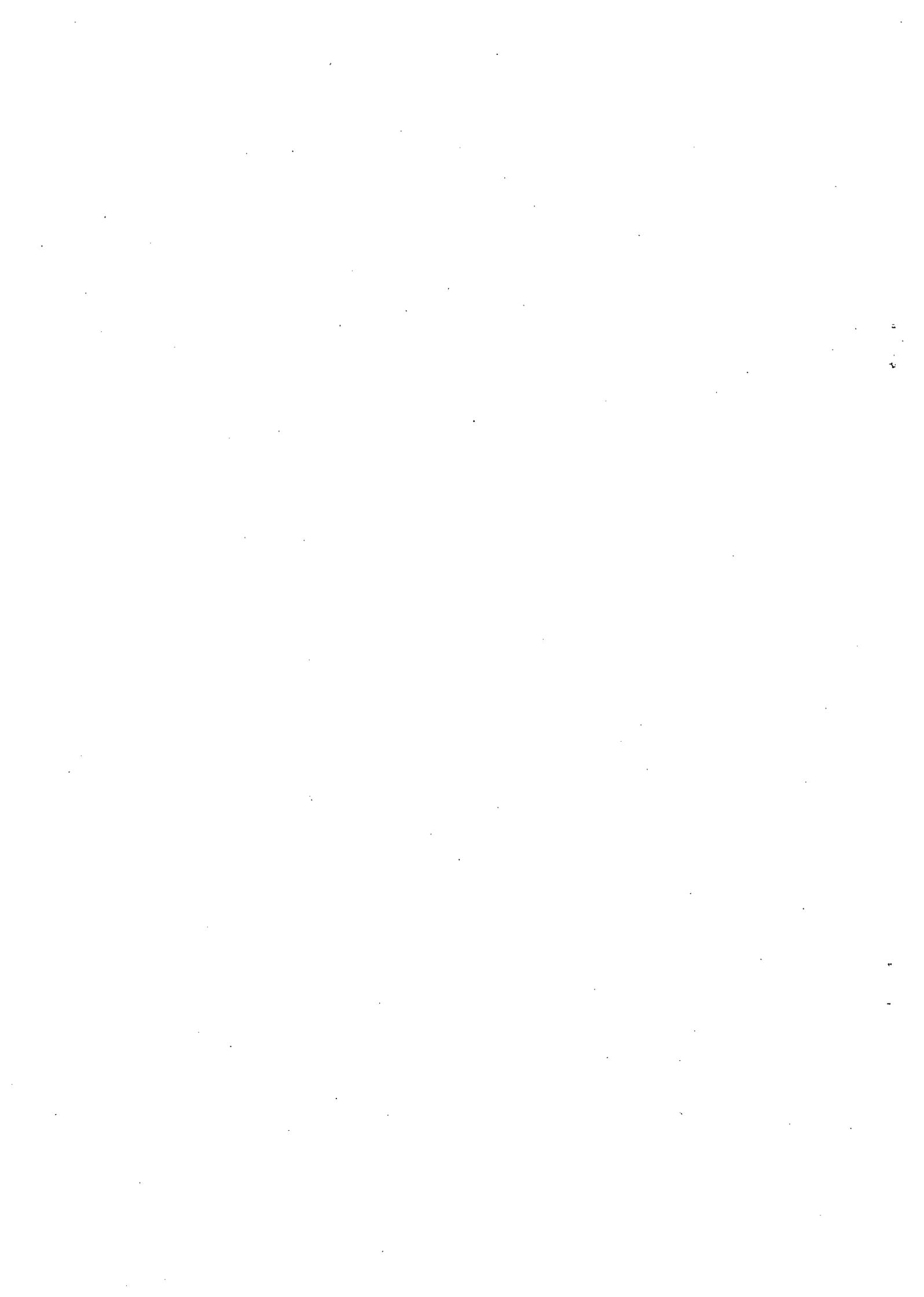


地域振興県土警察常任委員会資料

(平成29年4月21日)

- 1 鳥取市の中核市指定に係る県知事への同意申入れについて
【地域振興課】・・・ 1ページ
- 2 航空自衛隊美保基地における空中給油・輸送機(KC-46A)の配備に係る協議への
回答等について
【地域振興課】・・・ 3ページ
- 3 倉吉未来中心の全館再開について
【文化政策課】・・・ 9ページ
- 4 いなば西郷工芸の郷 郷開きについて
【文化政策課】・・・ 10ページ
- 5 第19回北東アジア地方政府サミット美術作品展示会の開催結果について
【文化政策課】・・・ 12ページ
- 6 ワールドマスターズゲームズ2021関西鳥取県実行委員会の設立について
【スポーツ課】・・・ 13ページ

地 域 振 興 部



鳥取市の中核市指定に係る県知事への同意申入れについて

平成29年4月21日
地域振興課
福祉保健課
環境立県推進課
教育総務課
行財政改革局人事企画課

鳥取市が総務大臣へ中核市の指定の申出を行うにあたり、4月12日に、市長が知事に地方自治法の規定に基づく県知事の同意の申入れが行われました。

この申入れを受け、6月定例県議会における「同意の議案」の提案に向けて、これまでの取組をより具体的に進めるため、「保健所移行実践検討チーム」を設置しましたので、その概要を報告します。

1 鳥取市の中核市指定に係る県知事への同意申入れ

- (1) 日時 平成29年4月12日(水) 午後1時～1時20分
- (2) 場所 県庁第2応接室
- (3) 申入者 鳥取市長 深澤 義彦、鳥取市副市長 羽場 恭一、中核市推進局長 田中 節哉、健康子ども部長 岩井 郁
- (4) 対応者 鳥取県知事 平井 伸治、統轄監 野川 聡、地域振興部長 高橋 紀子
- (5) 知事の主なコメント

- ・深澤市長の就任以来、市において十分な議論のもと必要な事項が検討されて提出された申入れであり、これまでの市における検討に敬意を表したい。申入れを重く受け止め、誠実に検討を進め、議会とも協議を深めて参りたい。
- ・全国にもあまり例がないが、限られた人材の中で、県と市で保健所を市町一体で運用し、素晴らしい住民サービスが提供できるよう、県市で最後に詰めるべき課題の整理を進める。
- ・県民のみならずと合意形成を図ること、4町の同意をいただくことが必要である。

2 保健所移行実践検討チームの立上げ (H29. 4. 13設置)

(1) 体制

① 保健所移行実践検討チーム

県から市へ保健所移行後もより良い住民サービスが提供できるよう、市職員の移管事務の習得、スキルアップのための研修方針を決定する。ワーキンググループにおける研修等の状況を確認し、必要な見直しを実施する。

【構成】チーム長：(県)福祉保健部長

副チーム長：(県)生活環境部長、(市)健康子ども部長

メンバー：(県)鳥取保健所長、東部福祉保健事務所長、東部生活環境事務所長
(市)環境下水道部長、福祉部長

② ワーキンググループ (WG)

移管する8つの事務分野(福祉支援、災害医療対策、医薬・疾病対策、障害者支援、食品衛生、動物愛護、環境衛生、廃棄物対策)ごとに、ワーキンググループを設置し、市の職員が県の保健所の現場で実践研修を行う。

(2) 今後の予定と進め方

4月中に第1回保健所移行検討実践チーム会議を開催し、研修方針を決定する。
各ワーキンググループにおいて、研修計画を作成する。

【参 考】

1 これまでの協議経過

平成26年 6月23日 深澤市長が平井知事に鳥取市中核市移行に向け県へ協力を要請

知事から市長へ、中核市移行の決意に敬意を表し、県として惜しみなく協力することを伝えるとともに、保健所をはじめ多くの事務権限が移管されることから、4町をオブザーバーに継続的に検討を行う場の設定を提案。

8月 4日 鳥取市の中核市移行に関する県・市協議会設置

知事、市長、4町出席のもと、第1回の協議会で、住民に身近な行政というメリットを活かした住民のサービスの向上を図ること、東部4町の保健所業務も一体的に市で実施することを基本に検討を進めることを決定。

以降H29. 2. 14まで、統轄監・副市長をトップに事務レベルで7回の協議会を開催
円滑な事務移譲と4町への保健所事務の委託に向けた体制整備等を検討協議。

平成27年 9月24日 鳥取市議会「鳥取市の中核市移行の推進に関する決議」

平成29年 1月25日 総務省・厚生労働省 事前ヒアリング

2月24日 市長が市議会に「中核市指定の申出」議案を提出

3月24日 市議会において「中核市指定の申出」議案が賛成多数で可決。

4月12日 中核市指定の申出に係る県知事への同意を申入れ

2 今後のスケジュール

平成29年 6月頃 県知事が県議会に「中核市指定に係る申出の同意」議案を提出（予定）
（県議会で可決された場合）

7月頃 県知事が市長に、鳥取市が総務大臣に中核市の指定に係る申出をすることへの同意書を交付

7月頃 市長が総務大臣に「中核市指定を求める申出」

11月頃 総務大臣が中核市に指定する政令を立案し、閣議決定により政令が成立
⇒「鳥取市」が中核市に指定

平成30年 4月 1日 鳥取市が中核市に移行

3 今後の取組

円滑な移譲に向けた体制づくりを行う。

（事前研修・人事交流等の人的支援、災害医療体制など緊急時の県との連携体制の構築など）

- ・「鳥取市の中核市移行に関する県・市協議会」及び県のプロジェクトチーム、市の部会において、これまでに引き続き、人事・組織的対応、財源等を整理する。
- ・4月13日に立ち上げた「保健所移行実践検討チーム」で、実践研修や人事交流も交えながら円滑かつ確実な事務移譲を行う。
- ・県から市へ保健所業務を委託する4町にも安心いただける体制を整備する。

航空自衛隊美保基地における空中給油・輸送機 (KC-46A) の配備に係る協議への 回答等について

平成29年4月21日
地域振興課

平成28年9月8日に中国四国防衛局から協議のあった航空自衛隊美保基地における空中給油・輸送機 (KC-46A) の配備申入れに係る事前協議について、3月29日に国へ回答しましたので報告します。

なお、県の回答を受け、3月31日に国から、地元自治体の意見を最大限配慮し、配備計画が具体化したときは、当該計画について再度協議する旨の回答がありました。

今後も引き続き、国からの速やかな情報提供、説明を求めるとともに、対応の誠実な履行について確認していくこととしています。

県から国への回答

米子市・境港市からの県への回答を踏まえ、配備に向けた準備を行うことを了承する旨を回答した。

【要旨】

美保基地に配備される空中・給油輸送機は未だ開発中の機種であるため、実配備前に十分な時間的余裕をもって配備計画について協議を行い、県の同意を得ること。

昭和54年1月26日閣議了解「美保飛行場周辺における生活環境の整備、振興等について」の趣旨を十分に尊重し、誠意ある対応を求める。

- 1 空中給油・輸送機 (KC-46A) の実機が開発中であり、完成後の実機による展示飛行・騒音測定や安全面での検証を十分に行う必要があることから、引き続き地元への情報提供・説明等の対応を行い、完成後は実機により展示飛行・騒音測定や安全面の検証を十分に行うこと。
- 2 住民の安全の確保のため、安全運航及び地上施設の安全対策に万全を期すこと。
- 3 生活環境に支障を来さないよう、騒音対策に万全を期すこと。
- 4 生活環境整備や地域振興について一層の対策を講じるとともに、特定防衛施設周辺整備調整交付金及び防衛施設周辺整備事業について十分措置すること。
- 5 現在定期運航している羽田便、ソウル便及び香港便のほか、今後就航する定期便、チャーター便を含め、民間航空機の運航及び拡充等に影響が生じないように配慮するとともに、民生利用の推進にも配慮すること。
- 6 航空輸送業務を行う美保基地の位置付け、性格に変更を生じないものとするとともに、基地の運用や美保基地に配備される航空機の機種変更等を行う場合は、速やかな情報提供と事前協議を行うこと。

【これまでの経過】

- H28. 9. 8 中国四国防衛局から本県に対し、配意に係る協議
9. 16～ 中国四国防衛局に対して配備に係る事項について照会・確認
10. 22 美保基地において空中給油・輸送機 (KC-767) のデモフライト・騒音測定を実施
11. 30 県から米子市及び境港市に対して意見照会
H29. 2. 27 米子・境港市長が知事へ「条件を付して同意」する旨の回答 (手交)
3. 3 県議会全員協議会に県の回答方針案を諮り了承
3. 4～ 中国四国防衛局及び防衛本省と、県からの回答文書の内容・用語の定義等について事務すり合わせ・内容確認を実施
3. 29 県から中国四国防衛局へ回答 (資料1)
3. 31 県が回答に付した条件等について、国から回答 (資料2)
4. 13 県が回答したことに対し、中国四国防衛局長が知事を訪問
4. 14 防衛省に対し、回答の際に付した事項への着実な対応を要望

第201600200572号
平成29年3月29日

中国四国防衛局長 様

鳥 取 県 知 事



航空自衛隊美保基地における空中給油・輸送機（KC-46A）の配備について（回答）

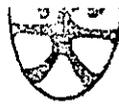
平成28年9月8日付中防企地第5888号により協議のあったこのことについて、米子市長及び境港市長からの意見を踏まえ、下記事項を満たすことを前提として配備に向けた準備を行うことについては了承します。

ただし、空中給油・輸送機（KC-46A）は未だ開発中の機種であるため、実配備前に十分な時間的余裕をもって配備計画について協議を行い、同意を得てください。

また、米子市長及び境港市長から別添のとおり意見が付されていますので、昭和54年1月26日閣議了解「美保飛行場周辺における生活環境の整備、地域振興等について」の趣旨を十分に尊重し、誠意ある対応を求めます。

記

- 1 空中給油・輸送機（KC-46A）の実機が開発中であり、完成後の実機による展示飛行・騒音測定や安全面での検証を十分に行う必要があることから、引き続き地元への情報提供・説明等の対応を行い、完成後は実機により展示飛行・騒音測定や安全面の検証を十分に行うこと。
- 2 住民の安全の確保のため、安全運航及び地上施設の安全対策に万全を期すこと。
- 3 生活環境に支障を来たさないよう、騒音対策に万全を期すこと。
- 4 生活環境整備や地域振興について一層の対策を講じるとともに、特定防衛施設周辺整備調整交付金及び防衛施設周辺整備事業について十分措置すること。
- 5 現在定期運航している羽田便、ソウル便及び香港便のほか、今後就航する定期便、チャーター便を含め、民間航空機の運航及び拡充等に影響が生じないよう配慮するとともに、民生利用の推進にも配慮すること。
- 6 航空輸送業務を行う美保基地の位置付け、性格に変更を生じないものとするとともに、基地の運用や美保基地に配備される航空機の機種変更等を行う場合は、速やかな情報提供と事前協議を行うこと。



受境都整第391号
平成29年2月27日

鳥取県知事 平井 伸治 様

境港市長 中村 勝治



航空自衛隊美保基地における空中給油・輸送機（KC-46A）の
配備について（回答）

平成28年11月30日付第201600125825号で照会のあった標記の件については、地元住民及び市議会の意見等を勘案し、航空自衛隊美保基地への空中給油・輸送機（KC-46A）の配備に同意いたします。

ついては、住民生活の安心・安全の確保、福祉の向上並びに地域発展のために、下記事項について、国に対して強く働きかけていただきますようお願いいたします。

記

- 1 空中給油・輸送機（KC-46A）の開発の進捗状況については、情報提供を行うとともに、実機完成後は試験飛行の実施など、安全性を十分に確認した上で配備すること
- 2 美保基地における自衛隊航空機の運用にあたっては、住民生活に支障をきたさないよう、騒音の軽減を図るとともに、安全対策に万全を期すこと
- 3 空中給油・輸送機（KC-46A）は、新たな機種配備であることを考慮し、地元住民の理解と協力を得られるよう、周辺環境の整備及び地域振興については、特段の配慮と一層の対策を講ずること
- 4 航空自衛隊美保基地の運用等に変更が生じる場合は、速やかな情報提供と事前協議を行うこと



地政起第508号-1

平成29年2月27日

鳥取県知事 平井伸治様

米子市長 野坂康夫



航空自衛隊美保基地における空中給油・輸送機（KC-46A）の配備
について（回答）

平成28年11月30日付け第201600125824号で照会があった
ことについては、地元住民の意向並びに市議会の意見を勘案し、下記の意見を
付して同意します。

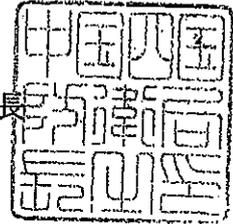
記

- 1 住民の安全を確保するため、飛行安全及び地上安全に万全を期すること。
- 2 生活環境の悪化を防ぐため、騒音の軽減について適切な対策を行うこと。
- 3 地域振興策と生活環境整備を円滑かつ強力に推進するため、十分な措置を行うこと。
- 4 機種の変更等を行う場合は、事前に協議をすること。



鳥取県知事 殿

中国四国防衛局長



航空自衛隊美保基地における空中給油・輸送機（KC-46A）の配備について（回答）

常日頃より航空自衛隊美保基地の運用・活動につきまして、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、関連文書により貴県から回答がありました本件について、地元自治体の意見を最大限配慮して、下記のとおり回答いたします。

なお、空中給油・輸送機（KC-46A）の配備計画が具体化したときは、当該計画について再度、協議いたします。

今後とも、当該基地の安定的な運用・活動の確保に関し、貴職のより一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1について

KC-46Aの騒音の程度及び機体の安全性については、説明資料（新たな空中給油・輸送機（KC-46A）の美保基地への配備について）等により御説明してきたところであるが、今後とも適切な情報提供等に努めてまいりたい。

また、KC-46A完成後の実機による展示飛行・騒音測定等の実施については、今後、検討してまいりたい。

2について

自衛隊航空機の安全運航等については、従来から万全を期しているところであるが、今後とも空中給油・輸送機も含めて、万全を期す所存であり、地域住民の安全確保に努めてまいりたい。

3について

美保基地では、これまで早朝・夜間飛行の自粛等、可能な限り騒音の軽減に努めてきたところであるが、KC-46A配備後においても、早朝・夜間の離着陸をできる限り控える、長時間にわたる上空待機をしない等、各種取組により、航空機の騒音を可能な限り軽減し、飛行場の周辺的生活環境に支障を来さないよう努力してまいりたい。

4について

美保基地周辺地域的生活環境の整備等については、美保基地に係る航空機騒音等の実態を踏まえ、境港市及び米子市の事業計画も具体的にお伺いしながら、防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律に基づき、予算の範囲内において助成に努めてまいりたい。

5について

民間航空機の運航、拡充等及び民生利用の推進については、具体的な計画をお聞きし、美保基地が民間空港との共用飛行場であることを踏まえ、適切に対応してまいりたい。

6について

美保基地へのKC-46Aの配備は、同基地の位置付け・性格に変更を加えるものではないと認識している。

なお、自衛隊航空機の運用等に変更が生じる場合には、速やかな情報提供等に努めてまいりたい。

倉吉未来中心の全館再開について

平成29年4月21日
文化政策課

昨年10月21日(金)に発生した鳥取県中部を震源とする地震により被害を受けた倉吉未来中心の全館再開について報告します。

1 全館の再開 … 4月30日(日)より再開予定

- ・アトリウムの柱脚の補強工事が完了し、これまで利用できなかったアトリウム、セミナールーム3と利用制限していた大ホールの2,3階席(2,3階601席、1階席含め1,503席)の利用再開。
- ・併せて、再開セレモニー・記念イベントを開催。

2 再開セレモニー等の概要

- (1) 日時 4月30日(日) 13:30~15:00
- (2) 主催 (公財)鳥取県文化振興財団、鳥取県
- (3) 場所 アトリウム
- (4) 内容(案)
 - ・再開セレモニー … 主催者、来賓によるテープカット
 - ・記念イベント … 倉吉市民等のブラスバンド及びプロのブラスバンド演奏
※倉吉市民等のブラスバンドは、メンバーを公募中。

3 これまでの再開状況

- ・男女共同参画センター「よりん彩」…11/29(火)より元の場所で業務再開済。
- ・鳥取二十世紀梨記念館…12/15(木)より再開済。
- ・倉吉未来中心事務室、練習室、リハーサル室、セミナールーム1~9(3を除く)
…12/15(木)より再開済。
- ・小ホール…1/27(金)より再開済
- ・大ホール…3/18(土)より再開済(1階888席のみ)

※参考：被災状況【10月補正予算(専決処分)により他の県有施設も含め7億円の復旧予算措置(うち倉吉未来中心関係で2.5億円契約済、今後変更あり)】

- ・アトリウム…高さ40mの屋根を支えるトラスの柱脚・基礎部分、鉄骨部材等が損傷。
- ・エントランスホール…吊り天井約140㎡が落下。
- ・大ホール…舞台の吊り物機構(幕、照明、音響設備等を上下する装置)が破損。客席の天井(高さ20m)の一部(最も舞台に近い部分)が移動し、変形。
- ・その他…小ホール、梨記念館等その他の部分では壁の仕上げの一部にクラック。空調設備の基礎や吊り材が損傷。外部の歩道、花だんの石貼が随所で破損。

【トラス基礎(柱脚)補強工事の状況】 ※補強工事で強度が25%向上



①被災後



②破損部撤去



③撤去部補修



④鉄板取付状況



⑤完成

いなば西郷工芸の郷 郷開きについて

平成29年4月21日
文化政策課

鳥取県では、アーティストが移り住み鳥取の豊かな自然の中で創作活動を行う「工芸・アート村」を推進しているところですが、このたび、鳥取市河原町西郷地区が工芸作家などを受け入れ、地域の活性化を目指す「いなば西郷工芸の郷」構想において、陶芸家の花井健太（はないけんた）氏の移住にあわせ、「いなば西郷工芸の郷 郷開き」が開催されます。

1 「いなば西郷工芸の郷 郷開き」について

(1) 日 時 4月22日(土) 10:00~11:30

(2) 主催・共催 (一社)西郷工芸の郷あまんじゃく いなば西郷むらづくり協議会

(3) 場 所 新西郷地区公民館 他

(4) 内 容

①郷開き 10:00~10:40 新西郷地区公民館(鳥取市河原町牛戸)

- ・主催者挨拶、来賓祝辞
- ・入郷歓迎の辞(前田昭博氏 他1名)
- ・工芸の郷 入郷認定証授与
- ・答辞(花井健太氏)

②花輪窯(かりんがま)窯開き 11:00~11:30 花輪窯(鳥取市河原町湯谷)

- ・看板除幕式 花輪窯披露(花井健太氏)
- ・窯開き神事
- ・花井健太氏作品 展示紹介
- ・左馬(ひだりうま)湯飲み茶碗 筆入れ

※左馬:新しい窯を築いて火を入れる「初窯」の際に、「馬」の字を裏返した形の「左馬」文様を描いた茶碗を焼くもの。その茶碗で飲食すると縁起が良いとされている。

2 いなば西郷工芸の郷について

- ・西郷地区の地域団体「いなば西郷むらづくり協議会」が3つの窯元(牛ノ戸焼窯、因州中井窯、やなせ窯)や、ガラス工芸(夫婦でIターンした若手作家)、木工芸(Uターンした女性木地師)などに加え、若手陶芸家らを地域に受け入れ、活性化を図る「いなば西郷工芸の郷」構想を推進するため、平成28年9月に(一社)西郷工芸の郷あまんじゃくを設立。同10月には「第1回西郷工芸祭り」を開催し、機運を高めている。
- ・西郷地区を「ものづくりの郷」として、特色を活かした活動を推進することにより、若手工芸作家の移住定住や住民との交流を図るとともに、移住希望者への空き家の提供、農家民泊、お試し住宅の運営等の事業を実施し、地域課題の解決と活性化に取り組んでいる。

3 いなば西郷工芸の郷 今後の取組(予定)

(1) 人間国宝フォーラム(前田昭博氏他によるフォーラム、作品展示、ワークショップ等)

6月24日(土) とりぎん文化会館

(2) 第2回西郷工芸祭り(県内作家作品の展示販売、ワークショップ、窯元めぐり等)

10月28日(土) 西郷地区公民館他

(3) 情報発信・HP作成

4 陶芸家 花井健太氏について

- ・千葉県出身。
- ・福岡県朝倉郡東峰村の「小石原焼(こいしわらやき)」にて、陶芸家 福島善三氏のもと、3年間の修行を経て西郷地区へ移住(新たな作陶地として、前田昭博氏が西郷地区を紹介)
- ・空き家を活用した住居兼作業場の確保等、生業の場づくりについて、県及び市の支援事業を活用し、地域もバックアップした。
- ・第72回福岡県美術展覧会西日本新聞社賞、第63回日本伝統工芸展入選(いずれも平成28年度)

西郷・工芸アートの村(いなば西郷工芸の郷)

- ◆鳥取県鳥取市河原町にある「西郷地区」は人口約1,250人が暮らす、11の部落からなる山あいの集落です。
- ◆清流のせせらぎ、虫、緑深い山脈、カジカ蛙の声...豊かな自然を享受しつつ地元の人たちはこれを守り育んでいます。◆ここ数年、落ち着いた環境を求め若い作家が移り住み始めています。

ようこそ 西郷へ

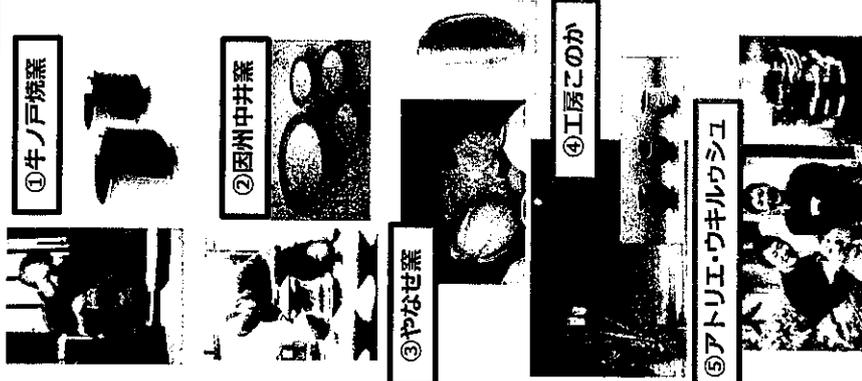
The map shows the following locations and their details:

- 湯谷 (Yuguya):** 陶芸家 花井健太氏 移住「花輪(かりん)窯」 (Ceramicist Kenji Kai, moved to Karin Kiln).
- 牛戸 (Ushido):** 西郷地区公民館 新業移転 H29/9 (West Country Community Center, new building moved H29/9).
- 中井 (Nakai):** ②因州中井窯 (Ino no Nakai Kiln).
- 大日寺 (Hinokasa):** ①牛ノ戸焼窯 (Ushino Ube Kiln).
- 新田 (Shinden):** ④H19~工房このか(木工芸) (烏取市出身、Uターン) (This is the 'このか' workshop, wood craft, from Utsunomiya City, U-turn).
- 小河内 (Kogouchi):** ⑤H21~アートリエ・ウキルウシユ (ガラス工芸) (Iターン) (Art Rie Ukiurushiyu (Glass Craft), I-turn).
- 神馬 (Kama):** アートリエ・ウキルウシユ (Art Rie Ukiurushiyu).
- 三滝溪 (Santaki):** かわはら三滝荘 (Kawahara Santaki-jo).
- 高山 (Takayama):** 高山名水 (Takayama Onsen).
- 鹿野 (Kano):** せせらぎ原 (Seseragi no no).
- 本角 (Honkaku):** 水谷梨園 (Mizutani Rieen).

《いなば西郷工芸の郷 郷開き》
平成29年4月22日に「いなば西郷工芸の郷 郷開き」を行い、移住者第1号となった陶芸家 花井健太さん(花輪窯)に入郷認定証を授与します。

《移住者第1号 花井健太氏》
千葉原出身
福岡県朝倉郡東峰村の「小石原焼」にて、陶芸家 福島善三氏のもとで3年間の修行を経て西郷地区へ移住。

第72回福岡県美術展覧会西日本新聞社賞(2016)
第63回日本伝統工芸展入選(2016)



※鳥取市街地から遠すぎず近すぎず
※お試し住宅など移住定住もバックアップ

豊かな自然に囲まれた環境、あたたかいコミュニティ、ゆったりとした時間の流れ = 文化・芸術との親和性

その土地の空気が感性を磨く。
アーティストが住まう「工芸・アート村」

第19回北東アジア地方政府サミット美術作品展示会の開催結果について

平成29年4月21日
文化政策課

北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの開催にあわせ、参加地域の美術作品を一堂に展示し鑑賞することで、今後の各地域間の文化芸術による国際交流を促進するため、「北東アジア地方政府サミット美術作品展示会」を開催しました。

1 事業内容

- (1) 名称 第19回北東アジア地方政府サミット美術作品展示会
- (2) 展示期間 4月10日(月)から12日(水)まで3日間
- (3) 開会式 4月10日(月) 11:25~12:10
- (4) 展示場所 まちかどステーション(倉吉市大正町1067-29)
- (5) 主催者 鳥取県
- (6) 参加地域 日本国鳥取県、大韓民国江原道、中華人民共和国吉林省、ロシア連邦沿海地方、モンゴル国中央県
- (7) 出品内容 各地域15点(総数75点)(伝統画・洋画・写真・書)
- (8) 入場者数 約170人

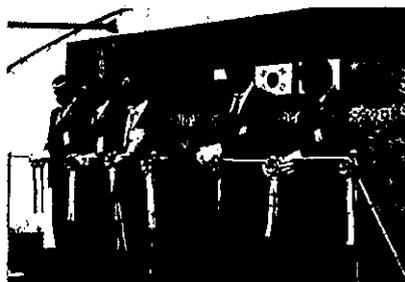
2 開会式及び展示会の様子

(1) 開会式

- ・琴による祝奏披露 日本の春の代表曲『さくら』を琴、尺八により演奏
- ・主催者あいさつ 鳥取県知事 平井伸治
- ・テープカット 各地域首長5名によるテープカット
- ・出席者 各地域首長5名、中華人民共和国駐大阪総領事館総領事、在大阪ロシア連邦総領事館領事、駐神戸大韓民国総領事館総領事、各地域の美術団(各3名)、鳥取県美術団として出品者(10名)その他、環境団、経済団、等

(2) 美術作品展鑑賞

- ・テープカットの後、開会式会場から展示会場に移り、作品を鑑賞。各地域から美術団として参加している作家等が、それぞれの地域から出展された作品について解説するギャラリートークを行った。
- ・5カ国の異なる風土の中で各地域で培われた伝統や文化を反映した作品の数々を、互いに鑑賞し、文化芸術における国際交流を図った。



ワールドマスターズゲームズ2021関西鳥取県実行委員会の設立について

平成29年4月21日
スポーツ課

2021年にアジアで初めて、鳥取県を含む関西一円で開催される「ワールドマスターズゲームズ2021関西」は、概ね30歳以上であれば誰もが参加できる世界最大規模の一般参加型の国際総合競技大会です。大会期間中には国内外から約5万人の選手が競技参加や観光等を目的として来訪します。

この世界最高峰の生涯スポーツの祭典を成功させ、生涯スポーツの振興、観光振興、地域の活性化につなげるとともに、本県の魅力や中部地震からの復興を全世界にアピールする舞台とするため、県内関係者が集まり、鳥取県実行委員会の設立総会を開催しました。

- 1 日 時 4月7日(金) 午前10時～11時
- 2 場 所 倉吉シティホテル
- 3 内 容
 - ・実行委員会の設立
 - ・議事(規約、委員委嘱及び役員指名、平成29年度事業計画及び収支予算(案)等)
 - ・イベント「スポーツで元気に!とっとり宣言」(開催競技、観光、中部地震復興の各分野関係者が大会成功に向けた「とっとり宣言」を唱和)

4 鳥取県実行委員会について

(1) 構成団体

- [自治体] 鳥取県、鳥取市、倉吉市、米子市、湯梨浜町
- [競技団体] 県アーチェリー協会、県自転車競技連盟、県柔道連盟、県グラウンド・ゴルフ協会
- [スポーツ団体] 県体育協会、県障がい者スポーツ協会
- [観光経済団体] 県観光連盟、県旅館ホテル生活衛生同業組合、県商工会議所連合会、県商工会連合会
- [交通団体等] 県バス協会、県ハイヤータクシー協会、JR西日本米子支社、智頭急行、県看護協会



(2) 役員

- 会 長 (1): 県知事
- 副会長 (8): 鳥取市長、米子市長、倉吉市長、湯梨浜町長、県観光連盟、県旅館ホテル生活衛生同業組合長、県商工会議所連合会長、県商工会連合会長

5 今後の主なスケジュール(予定)

年度	時期	内容
H29	4月19日 ～5月2日	WMG2017 オークランド大会開会式等参加、大会競技調査(アーチェリー、自転車)、グラウンド・ゴルフPR
	6月	国際マスターズゲームズ協会(IMG A)役員の会場視察受入れ
	11月	競技別実施要項概要の提出
H31	2月	募集要項発表、エントリー受付(H32年2月～H33年3月)
H33	5月	大会開催(5月15日～5月30日)※開会式14日京都市、閉会式30日大阪市

《関西ワールドマスターズゲームズ2021大会概要》

[期 間] 平成33年5月15日(土)～30日(日)(16日間)

[公式競技] 32競技55種目 選手参加 約5万人(国内3万人、国外2万人)

《本県開催競技種目》

アーチェリー(ターゲット:200人)[鳥取市]、自転車(トラック:500人/ロードレース:1,100人)[倉吉市]、柔道:500人[米子市]、グラウンド・ゴルフ:672人[湯梨浜町]

